

土居西こども園（仮称）基本・実施設計業務 諸室計画表

【認定こども園・支援センター】構造：指定なし 階数：指定なし 延床面積 1,300 m²程度

階	必要諸室	面積・利用人数	利用方法について	要求する機能等について	要求する設備等について	
指定なし	共用部	職員室	60 m ² 程度 (12人利用)	<ul style="list-style-type: none"> 主に事務室としても利用。 職員会、職員研修のため、25名程度参加する場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内全体が見渡せる位置に配置する。 訪問者（保護者・業者等）が見える位置関係がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務作業に必要な設備機能を計画する。（PC、プリンタ、電話等、放送設備） ホワイトボード、カギ付き収納棚 机、椅子（園長、副園長用、事務員） 4台 長机 4台、椅子 12脚、折りたたみ椅子 12脚
		調理室	100 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 園児の昼食・おやつを作る。（146人程度分） 	<ul style="list-style-type: none"> 調理室内に、調理員用トイレ・休憩所を計画する。 配膳室、検収室、食品保管庫も計画する。 配膳室には、カート8台がそのまま収納できるように計画する。 検収室には、外部からの納品経路に配慮する。 検収、調理、配膳を一連の流れで行える動線計画（部屋の形状は長方形）とする。 排水溝を数カ所とる。 配膳室にエアコン設置する。 手洗いは肘まで洗える大きさのものを計画する。 更衣室、トイレは男女別を検討する。 外にごみ箱洗浄用の水道を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 回転釜 2個、フライヤー 1台、オープン 2台、炊飯器 2台、ガスコンロ 3口、冷蔵庫 1基、シンク1槽 1台、シンク2槽 1台、作業台 1台、消毒保管庫兼作業台 1台、保管庫兼作業台 1台、消毒保管庫 1台、食洗機 1台 検収室に シンク2槽 1台 検収室に肉、魚用の冷蔵庫 検収室に検食保存用の冷凍庫
		保健室	10 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 園児の怪我、病気の際に利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室内に配置する。 簡易間仕切りを計画する。（レールカーテン） 	<ul style="list-style-type: none"> 可動式ベット カギ付き薬品庫 物入れ
		休憩室	15 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 職員の休憩室として利用する。 更衣室としても使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室に隣接して計画する。 廊下と職員室から出入りできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> たたみ（4.5畳）、ミニキッチン（温水・流し）、冷蔵庫ロッカー（4人分）、食器棚 押入れ
		相談室	15 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談があった際に使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室に隣接して計画する。 廊下と職員室から出入りできるようにする。 保護者からの視線は遮ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談用 机 1台、椅子 4脚
		玄関	適宜		<ul style="list-style-type: none"> 避難車が2台入る広さ。 引き戸 	<ul style="list-style-type: none"> 職員用の靴箱（20人用）扉付き・上下2段 来客用靴入（20人用）
		廊下	適宜			<ul style="list-style-type: none"> 埋め込み型消火器 BOX 埋め込み型AED BOX
		押入れ・倉庫	5 m ² 程度×各1箇所 15 m ² 程度×1箇所	<ul style="list-style-type: none"> 教材等を収納する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育室に隣接して計画する。 カギ付にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 棚
		職員用トイレ		<ul style="list-style-type: none"> 主に職員が使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 男子用 便器1、女子用 便器1、車いす用 便器1 手洗い、掃除用具入は共有とする。 職員室、相談室の近くに配置する。 	
保育部	乳児室 (0歳児クラス)	25 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児の乳児を6名程度、保育する。 最低基準面積（1.65m²×6人=9.90m²） 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室の近くに配置する。 調乳室を計画する。 ほふくスペースを明確にする。 手洗い場（レバー式蛇口2ヶ所） おむつ交換室を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士用、カギ付きロッカー 乳児用ロッカー（6人分） おむつ交換室におむつ交換用台、汚物洗い、シャワーコーナー、便器1台、職員用便器1台 押入れ 	

	乳児室 (1歳児クラス)	45 m ² 程度	・1歳児の幼児を12名程度、保育する。 最低基準面積 (3.3m ² ×12人=39.60m ²)	・職員室の近くに配置する。 ・押入れを計画する。(布団、遊具 収納用) ・室内に手洗い場(レバー式蛇口3ヶ所)を計画する。	・たたみ 12畳 ・保育士用、カギ付きロッカー ・乳児用ロッカー(12人分)※扉カギ付き
	乳児室 (2歳児クラス)	50 m ² 程度	・2歳児の幼児を18名程度、保育する。 最低基準面積 (1.98m ² ×18人=35.64m ²)	・職員室の近くに配置する。 ・押入れを計画する。(布団、遊具 収納用) ・室内に手洗い場(レバー式蛇口3ヶ所)を計画する。 ・園児数や誰でも通園制度導入に合わせて、可動壁やロッカーなどで2部屋として使用することもできる。	・たたみ 12畳 ・保育士用、カギ付きロッカー ・乳児用ロッカー(18人分)
	保育室 (3歳児クラス)	45 m ² 程度×2部屋	・3歳児の幼児を15名程度(2部屋)、保育する。 最低基準面積 (1.98m ² ×15人=29.70m ²)	・室内に手洗い場(蛇口3ヶ所)を計画する。 ・押入れを計画する。(遊具 収納用)	・ホワイトボード ・職員用、カギ付きロッカー、机1台、椅子1脚 ・園児用ロッカー(W300×H750 15人分)
	保育室 (4歳児クラス)	50 m ² 程度×2部屋	・4歳児の幼児を20名程度(2部屋)、保育する。 最低基準面積 (1.98m ² ×20人=39.60m ²)	・室内に手洗い場(蛇口3ヶ所)を計画する。 ・押入れを計画する。(遊具 収納用)	・ホワイトボード ・職員用、カギ付きロッカー、机1台、椅子1脚 ・園児用ロッカー(W300×H750 20人分)
	保育室 (5歳児クラス)	50 m ² 程度×2部屋	・5歳児の幼児を20名程度(2部屋)、保育する。 最低基準面積 (1.98m ² ×20人=39.60m ²)	・室内に手洗い場(蛇口3ヶ所)を計画する。 ・押入れを計画する。(遊具 収納用)	・ホワイトボード ・職員用、カギ付きロッカー、机1台、椅子1脚 ・園児用ロッカー(W300×H750 20人分)
	遊戯室	240 m ² 程度 (内収納 40 m ² 程度)	・全園児、保護者が集まって活動をする。 ・入園式、発表会等にも使用する。 最低基準面積 (1.98m ² ×2歳以上の園児87人=172.26m ²)	・常設ステージ(前面は階段状にする。)を計画する。 ・ステージ横からも出入り出来るようにする。 ・ステージ横は、ステージと同じ高さにする。	・電動幕、昇降ボタン ・背面幕(後ろの壁は白とし、スクリーンの代わり)
	乳児用トイレ (1～2歳)	20 m ² 程度×1箇所		・乳児室に隣接して配置する。(乳児室から出入り出来る配置にする。) ・1歳児は素足のまま行けるような床材とする。 ・小便器3箇所、便器3箇所、洗濯パン、汚物洗い1箇所、シャワー、職員用1箇所を計画する。※トイレ内に手洗い場は、不要。	・使用済みオムツを捨てるダストボックス。 (0・1・2・3児用トイレ)
	保育用トイレ (3～5歳)	20 m ² 程度×3箇所		・各保育室に隣接して配置する。(保育室から出入り出来る配置にする。) ・小便器4箇所、便器3箇所、シャワー、洗濯パン、職員用1箇所、手洗い、掃除用物入を計画する。※4、5歳児は共有トイレでもよい。	
	一時預かり室	40 m ² 程度	・一時預かりの幼児を保育する。	・職員室の近くに配置する。 ・保育室から直接行けるトイレ。素足のまま行けるような床材とする。 ・手洗い場は保育室内に設置する。	・保育士用、カギ付きロッカー ・乳児用ロッカー(8人分)
児童福祉施設	支援センター (土居おやこ広場)	120 m ² 程度	・親子で遊んだり、育児相談をする。 ・土日にも利用あり。	・玄関はこども園の園児と別の動線になるようにする。 ・ホール(こども園遊戯室と共有) ※土日のホール利用時に、こども園側に入らないように区画出来るようにする。	・押入れ ・倉庫 ・トイレ(職員用、保護者用、こども用) ・手洗い場 ・職員事務室

【屋外施設】

- ・園庭（0～2歳児用と、3～5歳児用を設けるように努める。）
- ・テラス（長めの軒をつけ、日差し・雨風をしのげるようにする。）
- ・園児用靴箱は、テラスに設置。シューズ入れと2段で1人分にする。（各クラス、最低20名分は確保。職員用も確保）
- ・砂場を乳児用、保育用 2箇所設ける。（屋根付き）※手洗い場を設置する。
- ・プールを設置する。（外部からの視線に配慮する）、隣接してシャワー場を設ける。（職員用シャワーも必要）
- ・シャワー付き手洗い場、足洗い場を設置する。（乳児用1箇所、保育用3箇所程度。温水が出るようにする。）
- ・遊具（総合遊具、鉄棒、ブランコ、うんてい、すべり台、車）を設置する。（乳児と3～5歳で各々設置する）
- ・時計、掲揚用ポール、掲示板を設置する。
- ・駐車場（認定こども園敷地内に、こども園送迎用（16台）・支援センター送迎用（4台）職員用駐車場（26台）を整備する。※送迎用駐車場は、各々の玄関側に設置する。 駐車場の脇に遊歩道を設ける。※スクールバスの利用は想定していない。
- ・園庭は広いグラウンドのような施設でなく、木や草花を植え（ビオトープ等）木陰のある園庭にする。※運動会を園庭で行うことを想定しなくてよい。
- ・園庭は多様に体を動かす場（築山・遊具等）や、想像や創作を広げる場（遊びの拠点としての砂場・水遊び場・遊びの道具や素材・デッキ等）を、動線を考慮して配置する。

【その他】

- ・防犯カメラを設置する。
- ・門扉は子どもでは開けられないものとする。（職員室から見える位置に、門扉を設置）
- ・各部屋がインターホンでつながるようにする。
- ・各部屋に室名札を設ける。
- ・カーテンボックス 保育室、職員室、相談室、遊戯室には遮光カーテンを設ける。
- ・職員室、遊戯室、保育室には、扇風機を設ける。

【設計基本方針・共通事項】

- ・基本コンセプト 5つのテーマを配慮した計画とする。
 - ・下記の5つの項目についても配慮する。
- (1) 子どもへの安全性等に配慮した計画とする。
 - ・壁等の仕上材の出隅部分は安全に配慮した計画とする。
 - ・指挟み防止に配慮した計画とする。※ただし外部の窓については、指挟み防止は不要。
 - ・保育室や遊戯室は子どもの声が響きにくい材質とする。
 - (2) バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮する。
 - (3) 省エネルギー、環境負荷低減へ配慮した計画とする。
 - ・窓には複層ガラスサッシ、飛散防止フィルム貼りなどとする。
 - ・遮熱に配慮する。
 - ・自然エネルギーの利用を検討すること。（採光など）
 - (4) 施設全体に木材を使用し、温かみのある意匠とすること。
 - (5) 出来るだけクラスの様子がお互いに感じられるような保育室の配置にする。

【倉庫】構造指定なし 平屋建 延床面積 25.0㎡×1箇所 程度

階	必要諸室	面積・人数	利用方法について	必要な設備・機能性について	その他
1階	倉庫	5m×5m =25㎡程度	・遊具入れ（砂場道具、ボール等） ・乗用玩具入れ（ミニカー、三輪車等） ・園芸用道具、テント入れ（職員のみが使用）	・遊具入れの倉庫は出来るだけ、砂場の近くに設置する。 ・出入り口を2箇所設け、2部屋に間仕切る。	・やまじ風の影響が強い所なので、風の影響に配慮する。

【その他要望事項】